

行政経営改革とは？

従来の行財政改革よりも広義で、効率性・効果性・健全性を重視した、自治体組織・財政に関する改革を指します。

行政経営改革の本質は、公共私(公・民・協働)の適切な役割分担によって、限られた行政資源を有効活用し、持続可能な地域社会を構築することにあります。

- ①行革は、「財政再建と小さな政府」だけを指すものではない。「市場と規制緩和」、「ガバナンス改革」をも指す
- ②地方自治の本旨は行革の視点に立脚している。
- ③行革とは単にコストカット・役所内の改革にあらず、地域社会を含めた地域全体の改革である。
- ④地方創生もまず取り組むべきは、足元の自治体経営の健全化である。

引用元:横山幸司『コロナ時代を生き抜く 自治体経営論』サンライズ出版 2022 p27

なぜ、行政経営改革が必要なのか？

人口減少と超高齢化、それに伴う財政の悪化、老朽化した公共インフラの維持管理費の増加、そして行政の肥大化という深刻な課題に直面する中、従来型の行政のあり方では対応が困難になっています。

限られた資源を有効活用しながら、持続可能な社会を実現するためのイノベーションが必要不可欠な状況になっているのです。

今、行政経営改革を行わないと、前述の課題に対応できず、行政サービスの低下、職員の疲弊、不祥事の発生、ひいては自治体の破綻といった事態を招きかねません。

【出典】

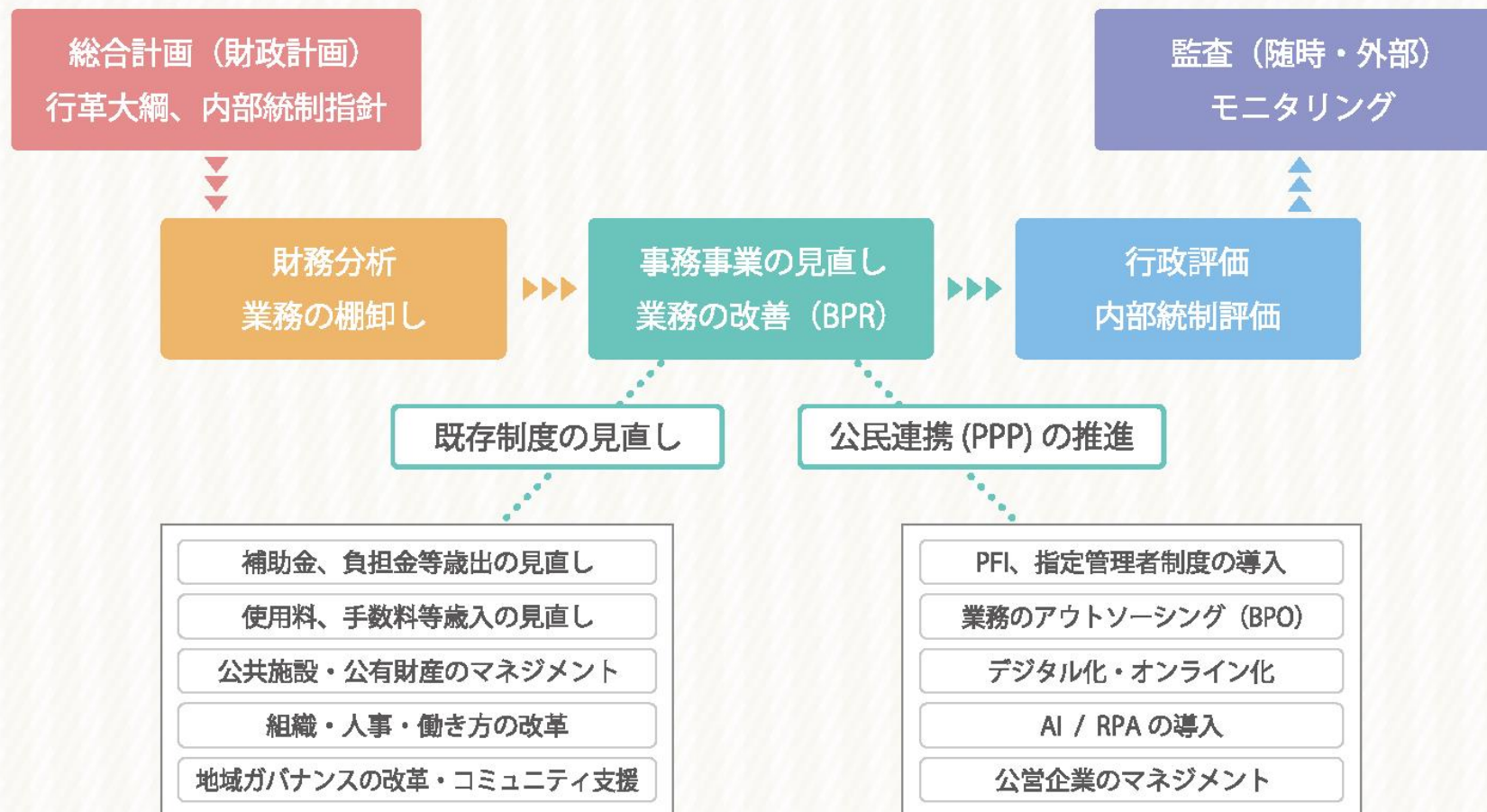
横山幸司.行政経営改革の理論と実務.サンライズ出版,2024

横山幸司.コロナ時代を生き抜く 自治体経営論.サンライズ出版,2022

横山幸司.令和5年度 行政経営改革支援事業実績.滋賀大学.

https://www.shiga-u.ac.jp/wp/wp-content/uploads/R5gyoukaku_achievement.pdf,(2024.8.21)

行政経営改革の流れ（フロー図）



【出典】横山幸司.”行政経営改革支援”.滋賀大学.[https://www.shiga-](https://www.shiga-u.ac.jp/research_cooperation/social_cooperation/social_cooperation_research_center/gyokaku_support/)

[u.ac.jp/research_cooperation/social_cooperation/social_cooperation_research_center/gyokaku_support/](https://www.shiga-u.ac.jp/research_cooperation/social_cooperation/social_cooperation_research_center/gyokaku_support/),(2024.8.21)